

会 議 録 (第 1 回総合教育会議)

会議の名称	平成29年度 第1回 飯能市総合教育会議			
開催日時	平成29年7月27日(木) 開会 午後3時29分 閉会 午後4時52分			
開催場所	飯能市役所 本庁舎別館 危機管理会議室			
議長氏名	市長 大久保 勝			
出席者	市長	大久保 勝	教育長	今井 直己
	教育長職務代理者	小見山 実	委員	大野 文敬
	委員	新野 豊次		
欠席者	委員	南林 さえ子		
説明者の 職氏名	学校教育部長	青柳 義久	教育総務課長	浅見 浩司
	学校教育課長	中村 誠		
関係者 職氏名	生涯学習スポーツ部長	益子 恵子	生涯学習課長	大野 美智子
	公民館管理担当課長	田中 誠志	スポーツ課長	内沼 和彦
	図書館長	柳戸 信吾	郷土館長	尾崎 泰弘
	市民生活部参事兼地 域活動支援課長	清水 直子	地方創生推進室副参事	奥 孝明
会議次第	1 開会 2 あいさつ 市長 教育長 3 協議事項 (1) 東吾野・西川・吾野小学校のあり方について (2) 青少年の健全育成について (3) その他 4 その他 5 閉会			

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・東吾野・西川・吾野小学校のあり方を検討する協議会通信 Vol. 1、Vol. 2 ・資料1 小中一貫教育実施校の例 	
傍聴人	2名	
事務局職員 職氏名	企画総務部長 鈴木 弘智	企画調整課長 竹井 伸次
	企画調整課主幹 都築 洋司	企画調整課主査 細田 宏徳
	企画調整課主事補 石井 舞	

発 言 者	発 言 内 容
	<p style="text-align: right;">開始 15時29分</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(※市長あいさつ) (※今井教育長あいさつ)</p> <p>3 協議事項</p> <p>企画総務部長 それでは、次第に従いまして3協議に入らせていただきたいと存じます。 ここから先は飯能市総合教育会議設置要綱第4条の規定に基づき、大久保市長に議長として議事の進行をお願いいたします。</p> <p>市長（議長） これより議長を務めさせていただきます。 市長と教育委員会の意思疎通を十分に図るための会議でございます。どうか活発な意見交換ができますように、ご協力をお願いいたします。 それでは、協議事項「(1)東吾野・西川・吾野小学校のあり方について」を議題といたします。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>教育総務課長 東吾野・西川・吾野小学校のあり方につきまして、児童数の減少が子どもたちにとっての適切な教育環境として大きな課題であり、昨年度のこの会議の中でもご協議いただき、この課題について地域の方々と協議を進めていくことになりました。昨年12月に吾野・東吾野、両地区の方への説明会を行い、本年4月9日（日）に「東吾野・西川・吾野小学校のあり方を検討する協議会」を発足していただきました。この協議会につきましては、それぞれの地区で選出いただきました、自治会、地域福祉団体、PTAなどの団体の代表者で構成され、飯能市においても、教育長をはじめとする教育委員会関係部課長、市長部局の関係部課長も参加し、協議を進めてまいりました。6月3日（土）には第2回目の協議会を開催していただき、その後、吾野・東吾野両地区に分かれ、協議を行っていただいたところ</p>

学校教育部長

です。今後は協議会にそれぞれの地区の考え方を持ち寄っていただき、協議会としての考え方をまとめていただくこととなります。

協議会の委員の皆様には、大変熱心に、また真摯に協議を行っていただいております。協議内容やご意見などについては、吾野、東吾野地域の皆様全員にお伝えできるよう、会議終了後、地区行政センター・公民館だよりの配布と併せて、「協議会通信」として全戸に配布させていただいております。

これまでの協議の中で、様々なご意見を頂戴しておりますが、中でも、複数の方から「魅力ある学校をつくってもらいたい。」というご意見をいただいております。また、中学校においても同様の課題があることから「小中一貫校をつくってもらいたい」といった具体的なご意見もいただいております。

そういったことから、本日は、小中一貫校の一例についてご説明させていただき、皆様からご意見をいただきたいと存じます。説明につきましては、学校教育部長の青柳からご説明申し上げます。

東吾野・西川・吾野小学校のあり方を検討する協議会におきましては、これまでの中で「特色ある魅力的な学校づくりを」とのご意見が多くありました。そこで、特色ある魅力的な学校づくりの一つとして、「小中一貫校」について他市での例を簡単に紹介させていただきます。

資料「小中一貫教育実施校の例」をご覧ください。

はじめに、小中一貫校とは「小学校6年間と中学校3年間の9年間を一括りと考え、計画的・継続的な教育活動により、学力向上と社会性や豊かな人間性の育成につながる異年齢集団による活動等小中一貫教育を行う学校」ということとなります。近隣市での例を2つ挙げさせていただきます。

まず、施設一体型小中一貫校 坂戸市立城山小・中学校、通称「城山学園」は、小中学校が共通の学校目標を掲げています。特色としては、通常の6年生ではなく、9年生まであることです。発達段階に応じて3段階に区分しており、小学校と中学校の接続をスムーズにしています。小中学校の教員が学校を行き来したり、4年生が全体のリーダーを務めたりしています。また5、6年生の一部では教科担任制等を実施しております。このように小中学校が共同に実施することが多々あります。

	<p>次に、施設隣接型小中一貫教育として、入間市立東町小・中学校は、学校目標は別々になっておりますが、目指す児童・生徒像は同じになっています。特色としては、継続と系統性を重視しています。また小中学校の乗り入れ授業も積極的に行っています。城山学園と同様、小中学校が共同で物事に取り組んでおり、小中学校が一体となる教育を行っています。</p> <p>この2つの学校は、1つの施設に小中学校があるか、同じ敷地内に並んでいるかの違いであります。</p> <p>もう一つ、施設分離型があります。これは施設が離れたところにありながら教育を共同で行っているものです。</p> <p>説明は以上です。</p>
市長	<p>部長、課長からの説明がありましたが、教育長にまとめてご意見等をいただきたいと思えます。</p>
教育長	<p>事務局から説明があったとおり、これまで東吾野・西川・吾野小学校の3校につきましては、児童数の減少に伴う教育の課題について、地域の方たちと協議を行っております。建設的な意見が多くあり、両地区でも本当に熱心に協議していただいております。その協議の中で、事務局の説明のとおり、「統合」という意見、そして「魅力ある学校づくり」を望む声を多くいただきました。さらに、「中学校の課題もある」という意見もいただきました。</p> <p>地域の皆様から様々な意見が出る中で、魅力ある学校づくりの一つの方法として、「小中一貫校はどうか」というご意見をいただきました。それについては、教育委員会でもこれまでこの3校の今後のあり方を議論し、「施設隣接型の一貫校を目指したらどうか」というご意見をいただいたところです。</p> <p>今後、地域の皆様、教育委員会、市長部局と一緒に協賛し、具体的な部分を決めていきたいと考えているということをお伝えしたいと思います。そのメリットは、先程話があったとおりです。しかし、さらに魅力ある教育環境や城山学園のような地域の特色を生かした教育により学校の魅力を高めていくこと、また市長からありました、地域の発展を視野に入れながら地域の方、委員と協議をしていきたいと考えております。そのうえで小中一貫校を目指した草分け的な協議を両地区で行いたいと考えています。同時に、小中一貫校が始まれば、中学校にも小規模特認校制度を検討していきたいと教育委員会として</p>

市長	<p>考えています。 私からは以上です。</p> <p>ありがとうございます。次に、各委員からご意見を賜りたいと思います。初めに小見山委員からお願いします。</p>
小見山委員	<p>私は昨年の総合教育会議は欠席をしておりますので、今回は思いを含めお話をしたいと思います。</p> <p>市長からお話がありましたように、悲観的な統合でなく、発展可能性都市のための前向きな統合をし、「攻めの教育」をしたいと考えております。「攻めの教育」は単なる数字合わせの統合ではなく、市内の同じ課題を抱える各地域に対する1つのモデル校「飯能モデル」にならなくては意味がないと考えています。児童・生徒の減少による課題がありますが、この統合によって、小中一貫校の中身の問題、施設・設備、教職員の配置について、他の学校にはない「飯能モデル」をつくらないと意味がありません。さらに、その内容をPRし、その地域に移り住んでも教育を受けたいという方が出れば良いと、またそれを目指さなければいけないと考えています。</p> <p>2年ほど前に地元のPTAの有志の方がとったアンケートを読みました。その中で「小規模特認校を飯能は行っているが、わざわざ複式にいれる親がいるのか」という保護者の意見がありました。私は、小規模校や複式の良さはあると思っていますが、地域の方や保護者は不安に思っています。教育委員会では、まず子ども第一の「子どもファースト」、子どもが集団活動を行うことで育っていく、ということを常に考えなくていけないと思っています。そして、子どものことを軸足に置きたいと思っています。通わせたい学校、モデル校を推進していくことが地域の発展、繁栄につながるという使命感を持たなくてはいけないと考えています。以上です。</p>
市長	<p>続いて、大野委員お願いします。</p>
大野委員	<p>この3校については、児童数が少ないながら現場の先生方はわたりの授業等モデルになる授業に取り組んでおり、質の高い授業ができています。しかし、集団的な授業ができないという事実があります。この点は、教育にとって一番重要なことでもあります。保護者のアンケートにもありましたとおり、部活がで</p>

	<p>き、野球の試合に出ることができるような集団的活動をするにあたり、どうしてもそれが欠点となります。このことから、早い段階で統合を進めていかななくてはいけないだろうと思います。この件に関し、昨年度のこの会議で市長からお話がありましたが、建設的に考えていく、ということです。その中で教育長を中心に地域の方と数回にわたり、また市長をはじめ、多くの職員に現地に出向いていただいて様々な話をさせていただいております。そして、地域の方の意見もまとまりつつあります。総合教育会議や教育委員会もそのような方針で進む必要があると考えます。また、様々な勉強をさせていただいている中で、やはり魅力ある小中一貫校にしなくてはいけないと思います。市長がよくおっしゃっている「対応日本一」というように、まだ小中一貫校は多くないので、その中でトップを取れるような思い切った教育をしなければならないと思っています。そのために乗り越えなければならない問題もあります。それは教育委員会が現場で調整を図りながら良い方向で進めていければと思っています。あとは、時間的な問題になるかと思っています。2年前にアンケートをとったものと現在とでは、地域の方の意見が多少変わってきているのも事実です。皆様の望まれることを我々で応えていこうと思っていますので、限られた時間の中で上手く進めていけたら良いと考えています。以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。続いて、新野委員お願いします。</p>
新野委員	<p>両委員と同じ考えです。小中一貫校は地域の皆様と同じ考えでありますから、教育委員会もそれに沿う形で進めて行くのがよろしいかと思っています。市長をはじめ教育長、教育委員会が一生懸命時間をかけて丁寧に進めている協議会で検討して意見をいただいています。学校ができるにあたって、またはできてから、地域の方、保護者、応援してくれる方等と定期的に学校の教育内容をチェックし合い、意見を積極的に取り入れるような場、運営機能をもったコミュニティスクールも視野に入れて進めていくのが良いのではと考えています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。いただいたご意見をまとめると、「統合」で良いのではという考えを強く感じました。この点で一番良かったことは地域間で対立がないということです。全国では学校の統合については地域間で対立が起ったところもあり</p>

	<p>ます。地域の皆様が、子どもたちの幸せを一番に考えたため、円滑に意見がまとまっている結果です。また複式学級については利点もありますが、子どもたちのことを考えると、「競争意識」を持たせることも必要であります。しっかりとした方向性を持ち、「発展的な統合」「全国の自治体から注目をされる統合」「統合して良かったと思える統合」「教育だけでなく、地域の繁栄も考える統合」にしていきたいと考えています。</p> <p>福祉だけでなく教育も大事にすることで人口増加に繋がると、ある人から聞きました。私もこれについて同感であります。また、学校教育部長から説明があった2つの事例を参考にし、それ以上を目指したいと考えています。そして、市の発展に繋がる統合や攻めの教育を進めていくことが重要でもあると考えています。</p> <p>これらを踏まえ各委員に再度ご意見を賜りたいと思います。まずは、新野委員からお願いします。</p>
新野委員	<p>新しい教育課程では小学校に英語が取り入れられます。これを小中一貫校ならではのやり方で積極的に取り入れていけば良いと考えています。例えば、中学校の先生が小学校にも関わっていくことなどです。これにより英語教育に力を入れることが教育の1つの特色になるのではないかと考えています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、大野委員お願いします。</p>
大野委員	<p>市長も仰っていたことと同様に教育で人口を増やしたいと考えています。そのための特色として、特認校を中学校にも導入していただいて飯能市内からだけではなく、秩父、狭山、また東京の方からも人がわざわざ来るような教育をすることが大事だと考えています。教育で人口を増やせるようにしなければならぬと思います。その例えとして、英語教育の充実やグラウンドが複数あることも大きな特色になると思います。</p>
市長	<p>ありがとうございました。次に小見山委員お願いします。</p>
小見山委員	<p>教育で人口を増やせるということは、同感します。私の地元では「農のある暮らし飯能住まい」事業を実施していますが、その事業に関心のある方は、その地区の学校や教育にも高い関</p>

市長	<p>心があります。その地域の教育の質が高ければ住みたいということになるのだと思います。地道なことですが、教育で地域の繁栄に弾みをつけることが必要だと思います。</p> <p>ありがとうございました。それでは教育長お願いします。</p>
教育長	<p>先程と同様「農のある暮らし飯能住まい」の説明会を実施した際、「土・日にも関わらず、校長先生がわざわざ学校の説明をしてくれたことにとっても感激した」と言う声をいただきました。その校長先生は「我々も子どもたちのためだけに教育をやるだけでなく、政策のお手伝いをすることで人口増加を図れる」と仰っていました。</p> <p>これから様々なことを目指すなかで、現場の先生と真剣に意見を交わして同じ方向で取り組めるような環境をつくり、意見を基に実行していくことが必要だと思います。様々な魅力を感じられるように、これから本格的に目指すべき学校像を検討していきたいと考えています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>親は子どもに良い教育をさせたいという願いが強いです。学校の教育内容が良ければ、市外からもその魅力に惹かれて通わせたいと思います。統合により自然環境を含めた良い環境で教育が出来るなら、素晴らしい先進事例になると考えています。</p> <p>他に、ご意見等ございますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p>
市長	<p>それでは、協議事項「(1)東吾野・西川・吾野小学校のあり方について」はこれで終結いたします。</p> <p>続きまして、協議事項「(2)青少年の健全育成について」を議題といたします。説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>青少年の健全育成について説明させていただきます。</p> <p>今、全国の小中学校では、いじめや不登校、問題行動、児童虐待など子どもを取り巻く問題が大きな課題となっております。埼玉県内におきましても青少年に関する事件が報道されておりますが、一例として平成28年8月に東松山市内で16歳の少年が死亡し、その加害者が少年2名と中学生3名というこ</p>

	<p>とです。この事件に関しまして、当該教育委員会によると子どもたちをこのような事件の被害者にも加害者にもさせないために未然防止の観点から、1 児童生徒への働きかけ、2 家庭との連携、3 関係機関との連携、による3つの必要性が掲げられました。また、先日平成28年度の埼玉県内の児童相談所における相談件数の報道等がありましたが、平成28年度は1万1639件で平成27年度の8387件にかけて3252件増加しているという結果でありました。また警察からの相談報告も増えている結果でございました。市内学校ではいじめ防止基本方針に基づき、いじめの早期発見、改善に向けて学校教職員、児童・生徒が組織的な取組を行っているところでございます。市内の中学校の一例として、いじめを未然に防ぐため生徒同士の主体的な支え合いを実施し、スクールバギーという取組を行っております。生徒がスクールバギーとなりポスター作りや生徒同士が相談活動を行い、生徒が主体的にいじめ防止と関わり合うという取組でございます。青少年の健全育成に関しましては、大きな課題であり課題解決には、学校の教育の充実はもちろん、家庭、地域の教育、そして関連機関との連携が叫ばれております。さらに、地域全体で健全育成に関わっていく必要があります。そこで、青少年の健全育成についてご意見を頂戴したいと存じますので、どうぞ宜しくお願いいたします。説明は以上です。</p>
<p>市長</p>	<p>説明のとおり、青少年の健全育成に関して、学校だけの指導には限界があります。教育環境というのは健全育成をしていかななくてはなりません。勉強だけではなく、様々な課題のある健全育成についても地域の応援が必要です。また、行政としてしっかりとした支援が必要であると考えています。これらを含め、皆様の意見を賜りたいと思います。教育長から何かありますか。</p>
<p>教育長</p>	<p>東松山での少年による殺人事件や川越市での中学生同士の暴行死亡事件は、ある意味いじめが絡んでいるのではないかと疑ってしまいます。学校でもいじめ防止対策をしておりますが、このような事件が起こってしまっている状況です。児童相談所への相談も多いということから、原因として家庭教育にも課題があると思われます。市としては、家庭に対しても教育の支援を行っていかなくてはならないと思います。家庭によっては子</p>

	<p>どもに手を差し伸べる余裕もないのが現状です。教育委員会として、支援が必要な家庭へ手を差し伸べる必要があります。市長部局や学校と連携して対策を立てることが重要だと考えております。</p>
市長	<p>ありがとうございました。大野委員お願いします。</p>
大野委員	<p>青少年の健全育成について、学校の先生方がいじめに対して数年前からしっかりと取り組んでいます。それでもいじめ等の問題が起きています。非行防止の観点からも最初の根を狩ることが必要であります。</p> <p>「青少年街の応援団見守りパトロール」実施の報告を教育委員会定例会で伺いました。小さな子どもがいる親子連れが、お酒を飲める飲食店に夜遅くまでいる状況がいかげなものかと感じておりましたので、この見守りパトロールのようにまちを上げて対策に取り組んでいかなくていけないと思います。</p> <p>また、児童虐待も目に余ります。特に保護者に虐待の自覚が薄いことが問題です。これについては親への教育が必要だと思います。青少年の健全育成には市長部局、教育委員会だけでなく、まち全体でさまざまな問題の解決に取り組んでいかなければならないと考えています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。 次に小見山委員お願いします。</p>
小見山委員	<p>東松山の事件の検証の報告書を読んで、学校、家庭、行政、また警察との連携が大切だと思いました。私が学校に勤務しているときに、市の児童相談員に大変助けていただいた経験があります。学校現場では、対応に限界を感じていたのも、このような市と連携した形は、まさに教育大綱にあるとおり「オール飯能」であると感じております。学校だけで問題を抱え込まず、オール飯能で子どもたちを育てていく体制がいかに大切かを強く感じています。さらに、「青少年街の見守りパトロール」のほか、「みんなの学習室」「勉強ノススメ」も教育委員会の事業として始まり、これらの活動を健全育成の下支えとして重要であるとも思っています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。新野委員お願いします。</p>

<p>新野委員</p>	<p>東松山の事件の報告書を読むと、児童相談所への相談はあったが、通告はなかったということです。このことから、学校や教育委員会での確かな指示、通告事例を示したりするなど、関係機関との連携が大事であると考えています。</p> <p>現代の子どもたちは家庭の中でさえも居場所がない場合もあり、その子どもたちは様々な形で悪い方向に進んでしまうことがあります。健全に育成することは重要ですが、まずは何か起きたときに市長、教育長を中心に迅速に対応することが大事であります。例えば、いじめについても過小評価で判断すると取り返しのつかないことにも繋がるので、些細なことでもしっかりと向き合っていかななくてはいけないと強く思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんの意見をまとめますと、多くの課題に対して学校や家庭に任せきりにせず、全体で取り組むという使命感を大人がしっかりと持って子どもを育てることが一番の基礎であるということです。日常マナーについても大人たちがきちんとルール守らないと子どもたちに健全育成のための教育を行えないと考えています。また小さなことから大人が行動を始めないと犯罪等に繋がる可能性もあります。</p> <p>では、再度委員の方に意見を賜りたいと思います。</p>
<p>小見山委員</p>	<p>青少年の健全育成については論点が多く、絞るのが難しいです。その中で子どもの居場所については、最近では「子ども食堂」「子どもの貧困」等が問題になっています。私の意見として、子どもの最大の居場所は学校でなければいけないと思います。東松山の事件の報告書にあるとおり、授業は居場所になりません。どんな時でも子どもにとって学校が居場所にならないといけないと思います。市長には是非とも手厚い教育をするための支援をお願いしたいと思います。また、教育は教員の指導力や質と言われていますが、数も重要ですので、人的予算についても改善をお願いしたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>予算について、具体的な数字やその効果についてきちんと説明していただけたら説得力が上がると思っています。最初から予算はつかないと諦めてしまうことはやめてもらいたいです。青少年を健全に育成することにおいて、自治体で差があっては</p>

大野委員	<p>ならないと考えています。どこの自治体でも同じ様な環境で教育をしていかななくてはいけないと思います。今後とも子どもたちのために良い環境をつくることを追求していきたいと思います。</p> <p>大人が子どもを育てるので、大人がきちんとした見本を見せていくということも大事です。そのためには、様々な分野の方と連携をとることも大事だと思います。学校現場の先生方、家庭も一生懸命取り組んでいる中で皆さんが手を取り合わなければなりません。健全育成会、学校の支援員、民生委員・児童委員と連携を綿密に取りながら上手く子どもたちを守っていく健全育成をする必要があると思います。市長、教育委員との話し合いの場を持って、縦割りの組織を乗り越えて、子どもたちを守る組織づくりをする必要があると考えています。</p>
市長	<p>一部の方ですが、最低限のマナーを守れない大人がいます。そのような大人が児童・生徒を守り、注意することなどはできません。小さなことでも健全育成のためには、まず大人がルールや常識を守って行動しなくてはいけないと感じています。</p> <p>新野委員は何かありますでしょうか。</p>
新野委員	<p>私からは特にございません。</p>
市長	<p>それでは最後に、学校教育部長から何かありますでしょうか。</p>
学校教育部長	<p>ありがとうございます。ご意見をいただき、大人が模範を示さなければならないと感じました。私も学校が居場所であればならないと考えております。そのためには、いきいきと通えるような学校づくりをすることが基本的な考えであると思います。そして、保護者に子育ての覚悟をしていただき、問題行動等に対してしっかりと責任を取る覚悟を持っていただきたいと思っています。子どもたちは未熟で失敗もありますが、保護者の方には覚悟を持って教育をしてもらいたいと思っています。そのようなことも踏まえ、関係機関と地域で子どもたちを育てていくという仕組みづくりに関して、積極的に教育委員会が保護者に対して意識付けをしていきたいと思っています。</p>

市長	<p>私たちが学校だけに任せるのではなく、しっかりと支援をさせていただくということが大事だと思いました。また、先生方に居場所を作っていただいていることに対しても、応援しなくてはいけないと改めて感じています。大人の責任として、他人事ではなくしっかりと応援をさせていただきたい。</p> <p>他に健全育成について、企画総務部長から何かありますでしょうか。</p>
企画総務部長	<p>私は3度に渡る財政担当の経験から、教育というのは人口増にも繋がると思ったことがあるので、地域の中では学校を核にするようにしたいとの思いもあります。是非先程の意見を財政当局に伝わるように、学校教育部長を通じ伝えていただきたいと思います。</p>
市長	<p>続いて、生涯学習スポーツ部長お願いします。</p>
生涯学習スポーツ部長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。本日「みんなの自習室」という事業を行いました。これもまちづくりの一つだと考えております。その事業実施の際、教育長から「このようなひとつひとつの地道な事業が青少年健全育成に繋がる」というお言葉をいただきました。また、「公民館を会場として子どもたちが公民館を大切にしていって、地域の方、学校の先生と地道な活動を行っていくことが社会教育に関わるものにとって大切ではないか」とも仰っておりました。企画総務部長からも心強いお言葉をいただき、このような健全育成を支える事業を展開する際には、強い説得力が大事だと思いました。そのために一人一人がよく考えていかなければならないと思っております。青少年健全育成の事業を行うにあたり何が大切か、ということをご意見の中で言っていただきありがとうございます。</p>
市長	<p>以上でよろしいでしょうか。本来でしたら時間をかけてご意見を賜りたいのですが、限られた時間ですので、これを持ちまして、協議事項「(2)青少年の健全育成について」は終結ということでもよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
市長	<p>全員のご意見を賜りました。以上で今回の議事を全て終了い</p>

<p>事務局</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>企画総務部長</p>	<p>たします。続いて、協議事項「(3)その他」でございますが、事務局から何かありますか。</p> <p>事務局からはございません。</p> <p>委員の皆様からは何かありますか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p> <p>それでは、長時間に渡りまして慎重で素晴らしいご意見をいただきありがとうございました。今後も全庁一丸となって素晴らしい教育環境に向けて邁進したいと思います。本日は大変ありがとうございます。</p> <p>大久保市長、進行ありがとうございました。また、委員の皆様には、慎重かつ熱心にご意見をいただき、誠にありがとうございました。今回の会議はこれにて閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終了 16時52分</p>
--	--

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 29 年 9 月 29 日

市長の署名

大久保 勝

教育長の署名

今井直己